

※Facebook、メールマガジンご案内

Facebook や【リンクス モトピクメールマガジン】ではエントリー開始、更新情報、競技規則変更、追加等をお知らせします。メルマガ登録はリンクスサイトから。



リンクスサイトはこちら

● 2019 → 2020 年 規則書の主な変更点

※規則変更点は赤字太字、重要事項は太字もしくは下線引きで示されています。

また下記以外にも細かい変更点がございます。

【2020 年変更主旨】

- ・どのクラスも現行新車販売されている車両で参加できるように致しました
- ・既に販売終了の車両について、長く楽しめるよう車両規定を緩和し、参加しやすく致しました

エントリーマニュアル

- 5) 参加料
 - ・ HRC GROM Cup 、 NSF100HRC トロフィー値下げ
- P2.) 単車走行会
 - ・ 250cc～600cc 走行会案内を掲載
- 6) 開催クラス
 - ・ SP150、MP39 新設
 - ・ 3 クラス名称変更、固定ゼッケンは引継ぎ
ノーマル 50→「SP-N(ノーマル)」、ST100→「ST125」、JP56→「MP-OPEN」
 - ・ HRC GROM Cup 、 HRC GROM Cup フレッシュマンのダブルエントリー可
- ・ **第 1 章 総則 第 1 項 主催者の件減と参加者義務**
 - 4) 参加者の義務
 - ・ 禁止行為、業務妨害にあたる信用棄損について追記
- ・ **第 2 章 競技規則 第 6 項 車両検査**
 - 6) 競技後車両検査
 - ・ 作業者は他選手の分解部品を触れたり、検査してはならない

車両規定

- ・ **第 3 章 車両規定 第 2 項 SP-N(ノーマル)、SP クラス共通規定**
 - 1) GROM、HRC GROM 等、4 ストローク 125cc までの参加を認める
 - 3-1) エンジンの変更制限 2 ストローク車のピストンリング エキスパンターの取り外しを認める
 - 3-1) エンジンの変更制限 2 ストローク車のバルンサーアイドルシャフトの加工を認める
 - 3-6)キャブレターの変更制限
～APE100、APE100 タイプ D、XR100 Motard、KSR110 のキャブレター制限を緩和
 - 3-12) NSR50 メーカー生産終了クラッチリフターロード部品の代替部品使用を認める
 - 3-15) ガゼットタイプのステッププレート取り付けを認める
 - 3-21) フレームの変更制限 エンジンマウント取付ステー等の当て板溶接を認める
 - 3-22) NS50F のスイングアームに NS50R リアショック取付目的の加工を認める
- ・ **第 3 章 車両規定 第 3 項 SP-N(ノーマル)クラス限定規定**
 - 1) APE100、APE100 タイプ D、XR100 Motard は CRF100 マフラーの使用を認める
- ・ **第 3 章 車両規定 第 7 項 ST125 クラス 規定**
 - 1) タイガーホッパー、GPX デーモンホッパー等、4 ストローク 125cc までの参加を認める
 - 3-18) フレームの変更制限 シャフト貫通部等分割箇所当て板溶接を認める
 - 3-23) GROM 参加時のエキゾーストパイプ制限が廃止となりました
- ・ **第 3 章 車両規定 第 8 項 MP-OPEN クラス限定**
 - 1) 2 サイクル 85cc までの参加を認めます。この規則により、NSR80 オーバーサイズピストンの使用が可能となります

90分 耐久	MP90-FB (フレッシュマン ビギナー)	<ul style="list-style-type: none"> 参加車両はスクーターを除く本レース全クラスの車両。最低重量規定はございません。 目安としてラップタイムが41秒までの方。 2回優勝した選手はEXPクラスに昇格となります。該当しないペアライダーは条件を満たすまでFBに参加可能です。
	MP90-EXP	<ul style="list-style-type: none"> ランキング対象クラス。最低重量規定はございません。 自身の判断でFBクラス、EXPクラスの選択が可能です。ただしEXPクラスに参加した選手は年度内FB クラスへの降格は出来ませんので、参加クラスは熟考の上、ご選択ください。
	HRC GROM	<ul style="list-style-type: none"> 本年、参加料は5,000円引きです。HRC GROM Cup規定車両によるクラス。HRCより正賞が用意されます。 第4戦までの参加実績はペアライダー含め、HRCグランドチャンピオンシップ参加資格にカウントされます。
ス プ リ ン ト	HRC GROM Cup	<ul style="list-style-type: none"> 本年、参加料は3,000円引きです。HRC GROM Cup規定車両によるクラス。第4戦までの参加実績はHRCグランドチャンピオンシップ参加資格にカウントされます。 フレッシュマンクラスとのダブルエントリー可能です。従いましてフレッシュマンの昇格制度はありません。 HRC GROM Cup フレッシュマンクラスのみ参加の方もグラチャン参加資格にカウントされます。
	NSF100 HRCトロ フィー	<ul style="list-style-type: none"> 本年、参加料は3,000円引きです。MP-N(ノーマル)と混走別表彰予定です。 たとえNSF100HRCトロフィークラスのエントリーが1台だとしても、クラスとしては不成立ですが、グランドチャンピオン大会の参加資格回数にカウントされます。 本クラスのみ参加資格年齢下限は満10歳です。また、条件として競技規則書P1.参加資格を満たす者とします。
	MP43 & HRC GROM Cup フレ ッシュ マン	<ul style="list-style-type: none"> 初心者対象クラス。本年、参加料は3,000円引きです。 モトビクニック規定のどのクラスのマシンでも参加可能です。(スクーターを除く) 予選はタイムアタックになります。予選及び決勝中、42秒999を上回るラップタイムを記録した方はレースの続行は可能ですが、賞典外となります。 HRC GROM Cup フレッシュマンはMP43と混走・総合表彰の為、43秒より速いと賞典外になります。第1戦から第4戦は特別賞授与があります。第5戦のみ43秒縛りのない着順による別表彰を致します。 MP41とのダブルエントリー可能です。
	MP41	<ul style="list-style-type: none"> 2020年の希望ゼッケンは21番以降でお願いします。ダブルエントリー車は当方で考慮します。 どなたでも、モトビクニック規定のどのクラスのマシンでも参加可能です。(スクーターを除く) MP43からのステップアップとして、経験値アップのためのWエントリーとして、速いライダーが低ポテンシャル車両での限界に挑戦、タイム差がある身内レース開催など、様々な目的で楽しんでいただくコンセプトです。 MP43、MP39とのダブルエントリー可能です。 予選及び決勝中、40秒999を上回るラップタイムを記録した方はレースの続行は可能ですが、賞典外となります。
	MP39	<ul style="list-style-type: none"> 2020年の希望ゼッケンは21番以降でお願いします。ダブルエントリー車は当方で考慮します。 どなたでも、モトビクニック規定のどのクラスのマシンでも参加可能です。(スクーターを除く) MP41とのダブルエントリー可能です。 予選及び決勝中、38秒999を上回るラップタイムを記録した方はレースの続行は可能ですが、賞典外となります。
	MP-OPEN	<ul style="list-style-type: none"> 昨年までのJP56後継クラス。SP150と混走の予定です。 4サイクル155.1cc以下 2サイクルは排気量が85cc以下となりました。(NSR80オーバーサイズ使用可となります。)
	MP-N (モトビクノーマル)	<ul style="list-style-type: none"> ノーマル50後継クラス。 XR100Motard、APE100はPD22キャブレター、CRF100のマフラー使用を認める。 4サイクル125cc以下の参加を認める、FSWミニろくGlobalクラス17インチ以下対象車両 GROM、HRC GROMで参加の場合、ホンダGROM純正マフラーを装着すること。(前期18300-K26-B00・後期18300-K26-C00を問わない)
	SPクラス (F・B・ EXP)	<ul style="list-style-type: none"> 昨年までのSP・MPクラスを名称統合しました。2サイクル、4サイクルとも参加対象車両は同じです。 NSR50/NSRミニについてはメーカー販売終了品について車両規定緩和点があります。必ず車両規定をご確認ください。
	ST125 & SP125	<ul style="list-style-type: none"> HRC GROM Cupとのダブルエントリーは不可(混走の可能性あり)。 4サイクル125cc以下の車両の参加が可、FSWミニろくGlobalクラス、インポートミニ等 GROMならびにHRC GROM参加時のエキゾーストパイプ18320-NK4-000使用条件は撤廃する。 ST125車両は一部を除いてSP125車両規定内での改造を認める。 参加台数が予想できない為、2クラス混走総合表彰で始める。
	SP150	<ul style="list-style-type: none"> スポーツプロダクションクラス。もちろん、125cc車両での参加も可。 対象はホンダCBR150、CBR150R、CBR150-FI、CBR125R、ヤマハYZF-R15、YZF-R125、スズキジクサー150、GSX-R125、GSX-S125、GSX-R150、GSX-S150、KTM RC125、125デューク等、FSWミニろくSuperGlobalクラス17インチ以下対象車両等。記載していない車両については条件を満たしていれば可。 Kayo MR150(車体型式KAYY2CKL1K、エンジン型式ZS157FMJ-2)の参加を認める。Kayo MR150での参加者はクラス内車種別特別表彰の予定。(エントリーよりお申し出がありました) 出力に影響しない車体周りの部品については変更を認めていく方向です。(キャリパー、ブレーキディスク等)将来的に、メーカーオプション追加設定の可能性があるため。 MP-OPENと混走別表彰の予定。 2020年の希望ゼッケンは12番以降でお願いします。昨年のJP56固定ゼッケン保持者はそちらの使用も可能です。